

ボランティア交流の場のお知らせ

みなさんの気軽な情報交換の場所として、「ボランティアの交流の場」を7月から開催しています。開催時間内は、出入り自由です。お茶とお菓子を用意してお待ちしていますので、どなたでもお気軽にお越しください。11月と12月の開催日は次のとおりです。

開催日時：11月17日(土) 9時～12時  
 11月20日(火) 13時～16時  
 12月18日(火) 13時～16時  
 12月21日(金) 18時～20時  
 開催場所：市社協小会議室

\*この交流の場は、なぜかいつも男性の参加者が、女性より多いんです…



ボランティアセンター特集

ボクたち流

ボランティア体験談

きっかけもはじまりも活動内容も十人十色。気負わず、楽しく、いきいきとボランティア活動を生活の一部にしている男性の声を届けます。大変忙しい方々ばかりで取材の時間調整も大変でしたが、どの方も、輝く笑顔で話してくださいました。おかげでボランティアなんて、…と、はじめから敬遠しているあなた、新しい出会い、発見、感動がありますよ。これを機会に何かはじめてみませんか。

《体験談》

- ① 活動を始めたきっかけ
- ② 活動してうれしかったこと
- ③ これから活動をはじめようとする人へのメッセージ

**唐木 浩行さん(左)さんと 清水 芳洋(右)さん** (20代～30代前半)  
 (円山地区在住)

①周囲の人から勧められて、公民館で福井市が展開してきた青年の地域活動を支援する事業に参加したことがきっかけで、「新・円山青年会」として活動しています。

②就職後は地区とのつながりは少なく、家と仕事場を往復するだけの日々でした。でも同じ世代の人たちと一緒に地元のお手伝いするうちに、仕事をしているだけでは得られない“つながり”が増え、達成感を味わえるようになりました。

③他地区の事業の応援や災害義援金などの活動にも関わるなど、少しずつ活動の幅を広げています。同世代の私たちと一緒に活動しませんか。

新・円山青年会のホームページ  
<http://www1.fotv.ne.jp/~enzan-k/>  
 円山公民館>教育事業>新・円山青年会へ

**山中 辰彦さん** (10代)  
 (香山地区在住)

①中学時代(熊本出身)に病院内で障害のある子どもたちと出会ったことや高校時代に所属していた和太鼓部で高齢者施設を訪問したのがきっかけです。

②福井大学に進学後、主に子どもにかかわるボランティア活動をはじめました。当初は、障害のある子どもたちをサポートしてあげないといけないと思っていましたが、一緒に過ごし、楽しむことで対等な関係が持てることなどに気づかされました。

③初めてだと、「ボランティア」と身構えて、緊張してしまいがちですが、肩の力を抜いて気軽に参加してほしいです。

**朝日 正之さん** (40代)  
 (足羽地区在住)

①もともと、父親の影響もあり、登山や自然に興味はありましたが、青年会議所に所属していた頃、ネイチャーゲームの講座に参加したのがきっかけです。現在はネイチャーゲームのリーダーの資格を持った仲間とともに「福井県ネイチャーゲーム協会」を結成し、活動しています。

②ネイチャーゲームの100あまりのアクティビティを通じて、「自然や環境の大切さ、すばらしさ」を子どもたちと一緒に学んでいます。自然の不思議と美しさ、そして何より、その体験した感動・感激を子どもたちと分かち合う体験にはまっています。

③僕たちの年代は、仕事も子育ても一番忙しい時期ですが、自分が楽しめること、好きなことを、他の人たちも巻きこんでみてはいかがでしょうか。

社団法人 日本ネイチャーゲーム協会のホームページ  
<http://www.naturegame.or.jp/>

**加藤 佳嗣さん** (30代後半)  
 (環地区在住)

①知人に誘われ、障害者の生活を知ってもらうために小学校の授業へ出かけたことがきっかけで、子どもたちを相手に、障害者スポーツの紹介や他人を思いやったり、一緒に楽しむ気持ちの大切さ、健康な体のありがたみなどを伝えています。

②軽いバスケット、テニス、チェアスキー、水泳などスポーツを通じて行動範囲も広がり、県外の友達もたくさん増えました。

③人の輪を広げるためにボランティアというのはいかがでしょうか。現在、一緒にテニスをしてくれる方を大募集です!!

**荒川 剛さん** (50代)  
 (酒生地区在住)

①長年、居酒屋を経営していましたが、再開発による立ち退きと同時に閉店し、今までとはちがう生き方をしようと思ったことが活動のきっかけです。障害のある方と一緒に旅行に出かける「外出支援ボランティア」や料理教室などのお手伝いもしています。

②前向きに生きる障害のある人にとっても感動したこと、活動を通して自分自身がやさしくなれたこと、そしていろいろな人との出会いがあることなどを体験できました。

③これから活動を始めようとする男性には、一歩をふみだす勇気を持って、新しい可能性への挑戦をしてほしいです。

**中村 正和さん** (60代)  
 (麻生津地区在住)

①居酒屋で知り合った仲間で「ふくしネットワーク福井」というグループを結成したのをきっかけに、手品や歌・踊りを披露するボランティアをしています。

②自分自身は手品を担当。結成後に独学で覚えたため、レパートリーを増やすのは苦労していますが、参加者から「アンコール!」の声がかかった時がとても嬉しいです。

③「退職後に時間ができたらはじめる」という人は多いのですが、いきなりスタートするのは意外と難しいことです。退職前から少しずつ地域へ入りこんで、少しずつボランティア活動できるような機会を自分自身で切り開いてほしいです。

**小澤 晋さん** (70代)  
 (香山地区在住)

①退職した時、体力的にも時間的にも余裕があるので、地域へ貢献しようと考えていました。そこで、市社協のボランティアセンターに相談して、ピッタリの活動を紹介してもらいました。

②現在は、「中央いきいきサロン」(市社協運営の高齢者・障害者などの交流の場)のお手伝いを週1回しています。人と人とのふれあいの中で、参加されている方の笑顔、反応がストレートに伝わり、毎回新しいことを発見しています。

③まず、自分自身が楽しみながら活動をおこなってほしいです。

福井市ボランティアセンター  
 (市社協内)  
 TEL 22101022  
 FAX 26191092